

★ 提案2に賛成の議論 ★

学校、医療、治安、そしてCaliforniaの財政の未来を守るため、提案2に賛成投票を。

2014年に有権者によって創設されたCaliforniaの緊急予備基金は、まさに、このような時のために設置されています：わずか数年で州予算が1,000億ドルの黒字から500億ドルの赤字へと急変しています。

提案2はその基金を強化し、学校、医療、治安がSacramentoの好不況の波に左右される予算編成の代償を払わずに済むようにします。

提案2に賛成投票することで、次のことが実現します：

- 州の積立金要件を一般会計歳入の10%から20%へと倍増させ、次の景気後退が訪れた際に、Californiaが形ばかりのものではなく実質的な備えを確保できるようにします。
- Sacramentoの政治家による過剰支出を阻止：税収が増加した際、本措置は、Californiaが維持できない新たな継続的支出にその臨時増収を充当するのではなく、より多くを積み立てることを州に義務付けることで、政治家により賢明な予算編成を行うよう強制します。
- 積立金が増加する場合であっても、教育資金が州憲法において保護されることを保証します。
- 財政の安定性を高めます：Washingtonが医療および食料支援の資金を数十億ドル削減させる動きを進める中、本法案は、California住民が頼りにしているプログラムを大幅削減することなく、Californiaがそうした損失を吸収するためのより万全な備えを整えられるよう確実にします。

これは党派的な考えではありません。州議会の共和党および民主党の議員、ならびにGavin Newsom州知事は提案2を支持しています。

California独自の超党派の立法分析局は、州が現行規則で義務付けられているよりも大幅に多くの資金を積み立てるべきであると勧告しています。提案2はその助言に従うものです。

積立金が底をついたときに何が起こるか、すなわち診療所の閉鎖、学校への資金提供停止、不可欠なサービスの削減、そして消防活動の大幅削減を直接目の当たりにしているCalifornia職業消防士、中小企業団体、および元保健長官Xavier Becerraと共に、提案2への支持にご参加ください。

万一に備えて貯蓄することは、Californiaの各家庭が行っていることです。それは、California州政府も同様にを行うべきことです。

提案2に賛成投票し、次回景気が悪化する際にCaliforniaが確実に備えを整えられるようにしてください。

詳細はYesOnProp2.comをご覧ください。

Darrell Roberts、会長

California職業消防士

Jesse Gabriel、委員長

California州議会下院予算委員会

Maria S. Salinas、CEO

ロサンゼルス商工会議所

★ 提案2の賛成意見に対する反論 ★

提案2の支持者たちは、本法案が財政的責任、ならびに教育、治安、医療のための資金保護に関するものであると皆様に信じ込ませようとしています。本法案の提出から24時間以内に、積立金を蓄える手段として本法案を称賛していた同じ政治家の多くが、州の貯蓄口座への50億ドルを超える義務付けられた積立を停止する法案も支持しました。

提案2は、California住民に対して貯蓄口座の規模を倍増させることを求める一方で、憲法上受け取る権利がある還付金を納税者が受け取れる可能性を低下させています。

提案2は納税者が還付金を受け取る可能性を低下させます。

憲法上の支出制限を超える州歳入は、納税者に返還されなければなりません。提案2は抜け穴を作り出し、政治家が支出制限に算入されなくなる積立金口座へ数十億ドルを移すことを可能にすることで、皆様が還付金を受け取れる可能性を大幅に低下させます。

提案2は、医療、教育、または治安のための新たな資金提供を一切保証しません。

支持者たちは、提案2が教育、医療、および治安を保護すると主張しています。現状では、同提案はそれらの優先事項のいずれに対しても新たな資金を一切充当していません。毎年いくら支出するかを今後も決定し続けるのは、皆様ではなくSacramentoの政治家です。提案2は、政治家がお気に入りの事業により多く支出できるようにするだけにすぎません。

Sacramentoに必要なのは、さらなる予算のごまかしや無駄な支出ではありません。必要なのは、有権者がすでに承認した憲法上の制限を守って運営する規律です。

提案2に反対票を投じてください。

David Tangipa、副委員長

下院予算委員会

Carl DeMaio、会長

California改革

Steven Choi、副委員長

上院選挙および憲法改正委員会

★ 提案2に反対の議論 ★

提案2に反対の票を投じることは、皆様の手元により多くの資金が残り、無駄な支出が減ることを意味します！

提案2は、Sacramentoの政治家のための裏金を生み出します。

1978年にCaliforniaの有権者は、州の政治家に支出制限を課すために圧倒的多数で州憲法改正に賛成投票を行いました。政治家たちはそれ以来その支出制限を嫌い続けています。提案2は、有権者が課した支出制限を政治家が骨抜きにすることを可能にします。政治家が不誠実にも「緊急予備基金」と呼んでいるものは、実際には裏金です！政治家はこの新たな裏金を流用して、自らの歯止めの利かない浪費癖を満たすことができます。

提案2は、皆様への税金還付金をなくします。

Californiaはすでに全米で最も税金が高い州ですが、歳入が支出制限を超えた際には皆様に税金還付金が提供されるよう州憲法で義務付けられています。提案2は抜け穴や会計上のごまかしを作り出し、これにより皆様が税還付金を受け取れる可能性を政治家が排除できるようにします。

提案2は、さらなる無駄な支出を可能にします。

Californiaの州予算は2018年以降76%増加し、インフレ調整後でさえ州政府の規模は40%も急拡大しています！皆様は2018年当時と比べて、現在40%多くのサービスや給付を受けていると実感されていますか？もちろん、そんなことはないでしょう！実際には、市民向けの多くの基幹サービスが骨抜きにされています。支出は増えているにもかかわらず、得られるものは少なくなっています。

それは、州の政治家が皆様の税金を、自らの選挙献金者に報いる無駄な事業や随意契約へと流用してきたからです。重要な施策に費やされるわずかな資金のうち、不正行為や無駄な支出によってそのあまりにも多くが失われています。政治家に対する支出制限を撤廃することによって、私たちはさらに多くの無駄な支出を目にすることになります。

提案2は、私たちの予算をより不安定にします

景気が良い時には、次の景気後退期に家庭や企業が増税、不可欠なサービスの削減、または予算の混乱に見舞われないよう、州は資金を蓄えておくことになっています。Sacramentoに必要なのは、資金を節約するための新たな手段ではありません。必要なのは、すでに定められている規則に従い、持ってもいない資金を支出するのをやめる規律です。提案2は私たちの予算をより不安定にし、私たちを財政危機のより大きなリスクにさらします。

提案2は、信頼できる予算監視団体から反対されています。提案2を支持しているのが誰であるかをよく見てください：私たちの予算の放漫な管理を繰り返してきた政治家や、政府契約を獲得している特定の利害関係者です！住民投票に付してから24時間以内に、提案2を後押しする政治家たちは、州の予算積立金への50億ドルを超える義務付けられた積立を停止することに賛成投票を行いました。これとは対照的に、提案2の反対派は、政府の説明責任と透明性を監視する団体であり、これにはReform CaliforniaやTransparency Foundationが含まれます。California住民に必要なのは、改革を装ったさらなる予算のごまかしではありません。政治家に説明責任を果たさせるためには、誠実な予算編成、無駄な支出の改革、そして実質的な支出制限が必要です。

提案2に反対票を投じてください。

David Tangipa、副委員長
下院予算委員会

Steven Choi、副委員長
上院選挙および憲法改正委員会

Carl DeMaio、会長
California改革

★ 提案2への反対意見に対する反論 ★

提案2は、好不況の波に左右される予算からCalifornia住民を保護します。

反対派は、州に必要なのは「規律」であって、新たな手段ではないと主張しています。しかし、彼らの定義する「規律」だけに頼った結果、Californiaは1,000億ドルの黒字を記録した後、500億ドルの赤字を計上することとなりましたが、これこそまさに、提案2によって防ぐよう設計されている好不況の循環そのものです。人員削減、医療の削減、サービスの大幅削減、そして増税につながるのは、本法案ではなく、その不安定さです。

Sacramentoの政治家による過剰支出を阻止します：提案2は、Sacramentoに支出するための新たな資金を一切与えません。それどころか、州の積立金要件を倍増させ、税収が急増した際には新たな支出ではなく、より多くの積立を義務付けます。

学校、治安、および医療を保護します：景気が減速した際、提案2は、これらを削減の筆頭にするのではなく、学校、病院、診療所、および治安のための資金保護を支援します。反対派が言及する理論上の「還付金」は、貯蓄ではなく支出を

優遇する50年前の会計上のごまかしに基づいています。提案2はその抜け穴を塞ぎ、実質的な20%の緊急予備基金を義務付けています。

自らを「監視団体」と称する者たちに惑わされないでください。California公式の超党派の立法分析局は、好不況の波に左右される予算循環を防ぐため、州が緊急予備基金を拡充するよう勧告しています。だからこそ、提案2は、California職業消防士、中小企業擁護団体、診療所、病院、および教育界の指導者たち、すなわち積立金が底をついたときに何が起るかを理解している人々から支持されているのです。

提案2に賛成の票を投じてください—www.YesonProp2.com

Dr. Linda Darling-Hammond、会長
California州教育委員会

Carmela Coyle、CEO
California病院協会

Francisco J. Silva、CEO
California初期医療協会